

再編案作成の考え方

優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針として、これまでのご意見をふまえ再編案を複数作成いたしました。

(1) 前提条件

これまで6つの視点で地域や公共施設の課題を整理してきましたが、再編案の作成にあたっては、①地域の活性化、②利便性の確保、③安全性の確保の3つの視点については、全ての再編案において前提条件となるよう作成しました。

視点	まちづくりや公共施設全般に関する課題解決の方向性 (案)
① 地域の活性化 ○若者・観光客にとっての魅力が足りない。	● 地域のシンボルとなる施設はリニューアル、複合化を実施。
② 利便性の確保 ○利便性の確保に不安・懸念がある。	● 機能の質を維持しつつ統廃合を進めることにより、施設の利用価値や利便性を向上させる。
③ 安全性の確保 ○適正な避難所配置・災害対策への不安・懸念がある。 ○空き家への懸念。	● 中山間地域であることの地域特性、避難所への近接性の確保の観点から北部、南部それぞれに集会機能を持つ施設を維持。

(2) その他の視点について

その他の視点については、提示した再編案をもとに比較・検証し、必要に応じて修正を加えながら、最適な配置の在り方を検討していきます。